

火山灰で鹿児島をPR!!

最近、私は、桜島の火山灰を使って焼き物を作っているという取り組みをしていることを知りました。これほど、桜島の灰は、ぶつてきたりまい上がったりすると、目に入り、目が痛くなったり、車に積もり灰に含まれている硫黄の成分のために車体がサビついたり、と、大変な思いをしなければならなくなり、あまり、良く思われていませんでした。「灰さえぶらなければ、桜島は鹿児島のおまんなだけだなあ。」と言われるくらいです。やっぱり、灰を役に立つ物としてできたのが、火山灰を使った焼き物です。けれども、まだあまり多くの人に知られていません。

そこで、私は、火山灰を使った焼き物を少しでも多くの人に桜島のすばらしさを伝えるものとして知ってもらおうと思い、その原料である灰を使った、「光る灰どろだんご大会」と、「灰の焼き物ショップ」という二つの

企画を考えてみました。

「光る灰どろだんご大会」は、桜島の灰と粘土質のどろを混ぜ、それをまるめ、かんそうさせたりみかいたりしてできた「光る灰どろだんご」を、「子どもしんさ買」に持って行きます。「子どもしんさ買」は、灰どろだんごの光り具合と、形の美しさとおもしろさをしんさします。そして、「大人しんさ買」は、「子どもしんさ買」が出した結果をもとに、そのどろだんごすべてに賞をつけ、全員賞状がもらえるようにします。そうすれば参加者が、「また参加したい」「今度は他の人もさそってみよう」と思うかもしれないと思うからです。また、灰どろをこねたり、まるめたりすることは、人の心をいやす働きがあります。テレビゲームをしたり、スマホゲームをしたりするよりも、どろだらけになって、遊ぶ喜びを味わってほしいです。作りながら、きっとコミュニケーションもはずむはずです。最後に、参加者たちに、桜島の温泉

②

③

に行くように薦めます。体についた灰どろのは
④
はごれをきれいに洗い、気持ちよく帰っても
らいたいからです。

二つ目の「灰の焼き物ショップ」は、桜島
の火山灰を使った焼き物のグッズをばい売し
ます。私が考えたグッズは、バッジ、チャー
ム、ブローチ、ストラップ、かみゴム、ポタ
ン、置き物、ペーパーウェイトです。

⑤
厚さは、バッジ、チャーム、ブローチ、ス
トラップ、かみゴム、ポタンは軽い方がいい
のでうすめで、置き物やペーパーウェイトは
重い方がいいので厚めです。

色は、ゆう薬さえ使えばカラフルにできま
す。

形は、桜島や、さつま切子などから鹿耳島の
物や、ハートや星など、いろいろな形も、楽
しいと思います。作るのがむずかしい所でも
パーツを分けて、最後にせっちゃくざいなど
を使い、組み立てれば、かんたんにできると
私は思います。

この	計画	で、	私が	求め	て	い	る	こ	と	は、	鹿	児
島	に	来	る	観	光	客	を	も	っ	と	増	や
し、	地	域	を	活	性	化	さ	せ	た	り、	鹿	児
島	の	こ	と	を	少	し	で	も	多	く	の	
人	に	知	っ	て	も	ら	っ	た	り	し	て、	鹿
児	島	の	良	い	と	こ	ろ	に	た	く	さ	ん
気	づ	い	て	も	ら	う	と	い	う	こ	と	と
す。												

